

令和4年度 学校関係者評価報告書

学校法人 北都健勝学園
新潟看護医療専門学校村上校
学校関係者評価委員会

「令和3年度自己評価報告書」をもとに、学校関係者評価を実施いたしましたので、以下のとおり報告いたします。

1. 学校関係者評価委員会出席者

- ・稲葉由美子（村上総合病院 看護部長）
- ・鈴木 沙織（村上総合病院 看護師／同窓会穂波会 会長）
- ・板垣 正志（八日市区長）
- ・安藤とよ子（副校長）
- ・塚原 智弘（事務局長代理）

2. 学校関係者評価委員会の開催

- (1) 日時：令和4年9月2日(金)13時30分～14時10分
- (2) 場所：新潟看護医療専門学校村上校 講義室4

3. 学校関係者評価期間

令和3年4月1日～令和4年3月31日

4. 学校関係者評価

〈評価領域ごとの学校関係者評価〉

評価基準：良い 4、やや良い 3、やや不十分 2、不十分 1

※自己評価：学校教職員による評価

領域	主な内容	自己評価	学校関係者評価
I. 学校経営	学校の組織運営、組織目標について	3.6	3.7
II. 教育課程・教育活動	教育目標、教育内容、授業や実習について、評価について、学生による授業評価の活用等	3.1	3.6
III. 入学・卒業対策	入学希望者への対応、国家試験対策、卒業生への支援	2.9	3.3
IV. 学生生活への支援	就職や進学への支援、経済的支援、健康管理	3.2	3.3
V. 管理運営・財政	個人情報管理、災害への備え等	3.2	3.7
VI. 施設設備	学校の建物、設備、バリアフリーへの配慮	3.1	3.8
VII. 教職員の育成	研修の実施、学会派遣、教員相互の授業参観等	2.3	3.1
VIII. 広報	広報	3.3	3.3
IX. 地域との連携	地域との連絡	2.2	3.3

〈学校関係者評価委員 コメント、質疑〉

- 教員ラダーの実施について
→教員ラダーを取り入れ3年が経過した。令和4年度からはポートフォリオも導入、活用しながら、副校長との面談を年3回実施している。
- 教員の質の向上について
→学内研修や教員同士による授業参観などを実施し、質の向上に努めている。コロナ禍になり、オンラインでの研修が増えたことで研修参加の機会は増えている。
- 地域との繋がりについて、これまではどのような活動を行っていたか。
→以前は、地域の施設へボランティアに出向いて利用者さんとのコミュニケーションを図ったり、清掃などの活動を行っていたが、コロナ禍で施設に出向くことが難しい状況となり、鶴を折って施設に届けるなど、学生が中心となりできることを考えて活動している。その他、村上市内の集団予防接種ボランティアについて希望者に案内し地域貢献に努めている。
- 高校生へのPRは？
→新潟、山形の高校訪問を実施している。また、オープンキャンパスなどのイベントの開催、学校見学や個別相談など、地域密着型で実施している。
- 看護師の充足状況は？
→県全体としては充足されつつあるが、当校のある村上地域の病院等は不足している。

〈総評〉

上記I～IXの領域に対し、委員による評価を行った結果、昨年度とほぼ変わらず、適切であった。自己評価が低いIII・VII・IXの領域については、新型コロナウイルス感染拡大により教育活動が制限されたことによる影響と考えられるが、引き続き、教育の質の向上を図り、適正な学校運営を行っていただきたい。